



# かわらばん

編集・発行

大阪はびきの医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1  
TEL: 072-957-2121 FAX: 072-958-3291  
E-mail: kokyucen@ra.opho.jp

平成29年5月

第215号

ホームページ



病院の名前が変わりました。

副院長 笹部 哲生

皆様ご存じのことと思いますが当院の名称が「大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター」から「大阪はびきの医療センター」に改称しました。本院4番目の名称です。そこで今回は当院の名称の変遷とそれに伴う診療内容の変化を簡単に説明させていただきます。



昭和27年～昭和51年 大阪府立結核療養所羽曳野病院時代

この時期の当院は日本の結核医療の向上にまい進し、結核患者の入院期間、および治療期間の短縮、小児結核患者の治療に貢献し、病床数1000の結核専門病院として世界に知られる病院になりました。しかし、医療の進歩により初期は結核の外科治療が専らでしたが、昭和40年代後半には結核手術がほとんどなくなり、それに変わって肺がん、自然気胸、膿胸の手術 が取って代わるようになりました。このような状況を踏まえ当院は診療の方向を 結核以外にも一般呼吸器、アレルギーとその関連疾患の診療に重きをおくようになりました。



昭和51年～平成15年 大阪府立羽曳野病院時代

この時代様々な科が当院に生まれました。現在の肺腫瘍内科、呼吸器内科、循環器内科、アレルギー喘息内科、産婦人科、皮膚科、眼科の前身が改称数年で設立されました。小児科は結核患児の減少により昭和48年、に一旦閉科しましたが、アレルギー小児科として再出発しました。

この時期の特徴は、多剤耐性結核の問題はありましたが、結核は順調に減少し、変わって肺がん、慢性閉塞性肺疾患等の非結核性肺疾患や喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症などのアレルギー疾患が著しく増えました。

ここに至って当院の診療は、一般呼吸器疾患およびアレルギー疾患中心に変容しその特徴を端的に表す病院名称が求められました。



平成15年～平成29年 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター時代

つい最近までこの名称で親しまれてきた当院ですが、この間の診療は呼吸器・アレルギー疾患のみならず産婦人科、消化器外科、乳腺外科、循環器内科、眼科等の一般診療の充実が府民から求められ、それに応えてきた時代です。

さらには、感染症センター、呼吸ケアセンター、腫瘍センター、アトピー・アレルギーセンターを設置し、呼吸器・アレルギー診療科間の横断的医療を提供し、気胸と乳腺疾患には専門センターを設置しました。このように、呼吸器・アレルギーの専門病院であるという特徴を残しつつも、一般医療の充実が求められ、今回の改称になりました。



平成29年～ 大阪はびきの医療センター

4月から新しい名称とともに当院の新しい時代が始まりました。さらなる診療の充実のため耳鼻咽喉科も再開設され病院は変貌を遂げつつありますが、理念は今まで通りです。結核の撲滅、呼吸器・アレルギー疾患に対して最高の医療の提供、誠意と暖かみのある優しい看護、そして、安心して頼りがいのある府民の為の医療機関を目指すことです。

これらの理念を日々実現すべく努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4月から新しい診療科を開設しましたので、お知らせします。

事務局長 美濃喜介

① 耳鼻咽喉科

副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、中耳炎、難聴、めまい、扁桃炎など幅広い耳鼻咽喉科領域の疾患に対して内視鏡手術を含めた診療を行ってまいります。また、アレルギー性鼻炎の治療では、スギ花粉、ダニに対する舌下免疫療法、皮下免疫療法を行います。検査では、重心動揺検査、聴覚検査、鼻腔通気度検査など精度の高い検査を行ってまいります。

耳鼻咽喉科 外来診療担当医師表

☆ (月)(水)(金)の午後は完全予約制です ☆

月	火	水	木	金
川島 (AM) 佐々木 (PM・予約)	休	担当医 (AM) 川島 (PM・予約)	佐々木 (AM)	黒川 (第2・4AM) 佐々木 (PM・予約) アレルギー外来 (PM・予約)

② 消化管 (胃・大腸) 専門外来 (毎週木曜日午前)

消化管 (胃・大腸) 専門外来では、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門等の消化管に関する疾患を専門的に診療してまいります。症状によっては上部内視鏡・大腸内視鏡検査も併せて行い、手術を必要とする疾患が発見されれば当院消化器外科を紹介いたします。

ピロリ菌の検査、除菌等も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



2B病棟 (集中治療室) の紹介

2B病棟看護師長 難波 美華

2B病棟は全国でも珍しい呼吸器疾患集中治療室 (IRCU) として、重篤な呼吸器疾患に対して全身管理を行っています。病床数は8床で、そのうち4床は感染症に対応できる個室になっています。IRCUには、人工呼吸はもちろん、侵襲の大きい手術や人工透析などを行う患者さんも入室されます。たくさんの医療機器に囲まれて緊張感あふれる現場ですが、医師や臨床工学技士たちと協力しながら高度で専門性の高い医療・看護を提供するために頑張っています。

IRCUに入られる患者さんは、病状的に意思疎通・コミュニケーションが難しいことも多く、また、ご家族も集中治療室への入室で動揺されています。集中治療を受けるということは、患者・ご家族にとってもストレスの大きいことであり、そういった患者・家族の思いを受け止め、サポートしていきたいと思っています。

今年4月からは毎週木曜日に2次救急の受け入れも開始され、緊迫した中でも柔軟な対応ができるよう、スタッフ一同日々トレーニングに励んでいます。万一の時には、患者さんを支えるために私達スタッフと一緒に頑張りましょう。

◆◆◆5月の教室案内◆◆◆

- |            |                 |           |       |
|------------|-----------------|-----------|-------|
| ◆カンガルー教室   | 5月 10・17・24・31日 | 午後1時30分～  | 第1会議室 |
| ◆アトピーカレッジ  | 5月 12・19・26日    | 午前10時～11時 | 第1会議室 |
| ◆乳幼児アトピー教室 | 5月 12・19・26日    | 午後2時～3時   | 第2会議室 |